



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社

コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥村英夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 加藤祐蔵

TEL 03-6418-4391

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	412	△7.2	△2	—	10	389.7	52	—
26年3月期第2四半期	444	△10.0	14	△65.1	2	△96.8	△9	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 72百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 2百万円 (△95.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	0.64	0.64
26年3月期第2四半期	△0.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	5,690		4,155	69.0		45.97
26年3月期	5,490		3,824	65.0		45.58

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,927百万円 26年3月期 3,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	850	△1.1	7	—	14	—	3	—	0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) - 、 除外 一社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	85,457,466 株	26年3月期	78,317,466 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	32,032 株	26年3月期	32,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	82,180,088 株	26年3月期2Q	78,285,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による一時的な減速があったものの、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、東京都港区西麻布のテナントビルの安定した賃料収入を得ることができました。また、同ビルの賃貸住宅部分の新規入居者数は、想定を上回るペースで推移しました。しかしながら、温浴施設建設のため東京都新宿区歌舞伎町の駐車場運営を平成25年9月下旬に終了したことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ11.5%減少し8千5百万円、営業利益は前年同四半期に比べ22.2%減少し5千4百万円となりました。

繊維事業では、第1四半期は盛夏物の刺繍レースの受注を多く受けることができましたが、8月以降秋冬物の受注が低迷した結果、売上高は前年同四半期に比べ10.5%減少し3千2百万円、営業利益は前年同四半期に比べ45.2%減少し1百万円となりました。

化粧品事業では、採算性を重視した受注及び経費削減に努めました。特にオールインワン美容液やホテル向けアメニティ商品の受注が好調であり、売上高は前年同四半期に比べ2.1%増加し1億2千7百万円、営業利益は前年同四半期に比べ908.6%増加し8百万円となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にてゴルフ場運営を行っております。8月・9月の来場者数は前年を上回ったものの、4月から7月にかけて来場者数が前年を下回ったことや前年同四半期に比べ新規会員の獲得数が伸び悩んだことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ10.6%減少し1億6千7百万円、営業利益は前年同四半期に比べ56.1%減少し1千2百万円となりました。

なお、各事業に帰属しない一般管理費等7千7百万円を全社費用に、受取保険金2千万円を営業外収益に、負ののれん発生益1千9百万円及び預託金償還益4千3百万円を特別利益にそれぞれ計上しております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は4億1千2百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業損失2百万円（前年同四半期は営業利益1千4百万円）、経常利益は1千万円（前年同四半期比389.7%増）、四半期純利益は5千2百万円（前年同四半期は四半期純損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、建設仮勘定の増加などにより前連結会計年度末と比較して1億9千9百万円増加し、56億9千万円となりました。負債は、長期預り金の減少などにより前連結会計年度末と比較して1億3千1百万円減少し、15億3千4百万円となりました。純資産は、資本金の増加などにより、前連結会計年度末と比較して3億3千1百万円増加し、41億5千5百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ、3億3千万円減少し、7億8千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2千7百万円（前年同四半期は2千9百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上や売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億1千1百万円（前年同四半期は7億4千1百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出や子会社株式の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、2億5千3百万円（前年同四半期は6億5千7百万円の獲得）となりました。これは、主に株式の発行による収入であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、様々な要因を考慮し、平成26年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,442	786,821
受取手形及び売掛金	120,804	92,084
商品及び製品	8,057	9,458
仕掛品	2,902	2,343
原材料及び貯蔵品	37,025	35,362
販売用不動産	307,021	309,418
短期貸付金	31,572	30,926
その他	18,352	16,158
貸倒引当金	△2,793	△2,062
流動資産合計	1,640,386	1,280,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	353,770	333,332
機械装置及び運搬具（純額）	48,379	42,750
工具、器具及び備品（純額）	22,249	18,833
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,277,975	2,277,975
建設仮勘定	527,010	1,118,412
有形固定資産合計	3,591,609	4,153,529
無形固定資産		
のれん	7,021	4,681
借地権	83,445	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	418	738
無形固定資産合計	92,972	90,951
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	176,853	176,204
貸倒引当金	△11,816	△11,622
投資その他の資産合計	165,637	165,182
固定資産合計	3,850,219	4,409,663
資産合計	5,490,605	5,690,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,840	13,611
1年内返済予定の長期借入金	83,568	483,568
未払法人税等	5,783	5,306
未払金	29,486	25,389
その他	50,906	51,930
流動負債合計	193,583	579,805
固定負債		
長期借入金	978,414	536,630
資産除去債務	2,853	2,886
再評価に係る繰延税金負債	45,847	45,847
長期預り金	396,326	329,546
その他	49,537	40,102
固定負債合計	1,472,978	955,012
負債合計	1,666,562	1,534,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,527,811
資本剰余金	149,940	244,825
利益剰余金	△36,997	73,744
自己株式	△2,076	△2,076
株主資本合計	3,485,630	3,844,305
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	82,792	82,792
その他の包括利益累計額合計	82,792	82,792
新株予約権	6,211	—
少数株主持分	249,408	228,259
純資産合計	3,824,043	4,155,357
負債純資産合計	5,490,605	5,690,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	444,511	412,449
売上原価	275,194	263,427
売上総利益	169,316	149,022
販売費及び一般管理費	154,576	151,512
営業利益又は営業損失(△)	14,740	△2,490
営業外収益		
受取利息	2,788	2,468
受取配当金	9	9
受取保険金	—	20,000
その他	14,597	5,267
営業外収益合計	17,395	27,746
営業外費用		
支払利息	4,585	12,527
減価償却費	686	637
支払手数料	19,047	—
その他	5,764	2,043
営業外費用合計	30,084	15,208
経常利益	2,051	10,047
特別利益		
負ののれん発生益	540	19,894
預託金償還益	—	43,632
債務免除益	2,000	—
特別利益合計	2,540	63,526
特別損失		
固定資産除却損	0	192
減損損失	1,260	—
事務所移転費用	168	—
特別損失合計	1,428	192
税金等調整前四半期純利益	3,163	73,382
法人税、住民税及び事業税	1,128	1,190
法人税等調整額	△461	△11
法人税等合計	666	1,178
少数株主損益調整前四半期純利益	2,497	72,203
少数株主利益	12,359	19,621
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,862	52,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,497	72,203
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	2,497	72,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,862	52,582
少数株主に係る四半期包括利益	12,359	19,621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,163	73,382
減価償却費	19,945	34,287
のれん償却額	2,340	2,340
減損損失	1,260	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,947	△924
受取利息及び受取配当金	△2,797	△2,478
支払利息	4,585	12,527
有形固定資産除却損	0	0
無形固定資産除却損	—	192
負ののれん発生益	△540	△19,894
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,852	28,720
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,291	△1,574
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,689	△10,228
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,724	12,920
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△5,326	2,947
長期預り金の増減額 (△は減少)	△1,600	△66,780
その他の資産の増減額 (△は増加)	23,415	△2,609
その他の負債の増減額 (△は減少)	16,580	△25,599
小計	41,104	37,227
利息及び配当金の受取額	2,369	2,453
利息の支払額	△5,949	△12,545
法人税等の還付額	—	1,891
法人税等の支払額	△8,470	△2,013
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,054	27,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△757,658	△591,048
無形固定資産の取得による支出	△83,445	△600
子会社株式の取得による支出	△1,125	△20,874
貸付金の回収による収入	250,247	645
差入保証金の差入による支出	△150,000	—
差入保証金の回収による収入	400	442
出資金の回収による収入	—	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741,581	△611,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	674,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,192	△41,784
リース債務の返済による支出	△2,231	△4,324
株式の発行による収入	—	299,880
財務活動によるキャッシュ・フロー	657,576	253,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△54,951	△330,621
現金及び現金同等物の期首残高	1,248,917	1,117,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,193,966	786,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

株主資本の金額の著しい変動

当社が平成25年3月18日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成26年6月24日の権利行使をもって当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が1億5千3百万円、資本準備金が1億5千3百万円それぞれ増加しております。また、平成26年6月27日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金5千8百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が1億5千3百万円、資本準備金が9千4百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が35億2千7百万円、資本準備金が2億4千4百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	96,508	36,096	124,459	187,446	444,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	96,508	36,096	124,459	187,446	444,511
セグメント利益	70,279	2,812	835	28,711	102,638

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で821,787千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加や従来から区分所有している東京都港区の西麻布ビルの住居部分を新たに取得したことによる「建物」、「土地」及び「借地権」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	102,638
のれんの償却額	△2,340
全社費用(注)	△85,557
四半期連結損益計算書の営業利益	14,740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに含まれない全社資産である遊休資産において、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,260千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「ゴルフ場」セグメントにおいて平成25年8月22日に、子会社である伊豆スカイラインカントリー株式会社の株式を追加取得いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては540千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	85,454	32,288	127,100	167,606	412,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	85,454	32,288	127,100	167,606	412,449
セグメント利益	54,669	1,541	8,431	12,615	77,257

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で595,818千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	77,257
のれんの償却額	△2,340
全社費用(注)	△77,407
四半期連結損益計算書の営業損失	△2,490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。